



ショートコメント

★★★★★

Data 2021-143

リスペクト

2021年/アメリカ映画
配給：ギャガ/146分

2021 (令和3) 年11月5日鑑賞

TOHO シネマズ西宮 OS

監督：リーズル・トミー
出演：ジェニファー・ハドソン / フォレスト・ウィテカー / マロン・ウェイアンズ / オードラ・マクドナルド / マーク・マロン / タイタス・バージェス / セイコン・セングロー

👁️👁️ みどころ

“ソウルの女王”とは誰？“史上最も有名な100人のシンガー”の第1位は誰？それが本作の主人公アレサ・フランクリンだが、寡聞にして私は知らなかった。盲目の黒人歌手、レイ・チャールズはよく知っていたのだが・・・。

「リスペクト」は三人姉妹のお遊びの中で作られた曲だが、その歌詞に込められた意味は？それが「伝記映画」のタイトルにされた意味は？

昭和の歌姫、美空ひばりの「不死鳥コンサート」は今なお語り草だが、伝説の歌姫アレサは76歳まで大活躍！その全貌を本作で！

——*——*——*——*——*——*——*——*——*——*——*——*——

◆私は中学生の時から“盲目の黒人歌手”レイ・チャールズ（1930年～2004年）は知っていたが、ほぼ同世代の（？）“ソウルの女王”アレサ・フランクリン（1942年～2018年）のことは全く知らなかった。

『Ray/レイ』（04年）『シネマ7』（149頁）でレイ・チャールズ役を演じたジェイミー・フォックスはすばらしい熱演だったが、本作でアレサを演じたのは誰？それは、『ドリームガール』（06年）『シネマ13』（25頁）のエフィー・ホワイト役で、すばらしい歌声を響かせた女優ジェニファー・ハドソン。その姿形は、アレサそっくりだ。

2021年に公開された『アメイジング・グレイス/アレサ・フランクリン』（18年）を見逃していた私にとっては、本作は必見！ちなみに、アレサはローリング・ストーン誌が選ぶ「史上最も偉大な100人のシンガー」第1位に選ばれた伝説の歌姫だが、本作にジェニファー・ハドソンがアレサ役として起用されたのは、生前のアレサ自身が指名したためらしい。なるほど、なるほど。そんな風に、“運命の糸”で結ばれた（？）アレサとジェニファーだから、スクリーン上のジェニファー・ハドソンはいかにもアレサ・フランクリン！？

◆この父親にして、この娘あり！これはよく聞く言葉だが、デトロイトの大きな教会で、

牧師として、宣教師として、さらに公民権運動の活動家として大活躍している父親 C.L. フランクリン師（フォレスト・ウィテカー）には、長女アーマ・フランクリン（セイコン・セングロー）、次女アレサ・フランクリン、三女キャロリン・フランクリン（ヘイリー・クキルゴア）という三人姉妹がいた。本作前半で描かれるこの家族の風景は、まさにこの父親にしてこの娘あり！黒人の教会では、ゴスペルが大きな役割を果たすことはよく知っていたが、本作を観ていると、それがよくわかる。こんな中で育てば、「絶対音感」は当然だし、作詞・作曲、アレンジの能力も自然に育まれるらしい。本作のタイトルにされている『リスペクト』はアレサのヒット曲のひとつだが、この曲はそんな姉妹が遊び半分で作ったものだから恐れ入る。

他方、黒人ながら C.L. フランクリン師は大資産家だったが、牧師としても厳しく、教育者としても厳しかったらしい。しかし、そんな父親の女関係は？アレサも10代から結婚、妊娠、離婚を繰り返したようだが、その血はひょっとしてこんな父親からの遺伝・・・？

◆日本では、1960年代後半にデビューした橋幸夫、舟木一夫、西郷輝彦は、昭和の高度経済成長時代に向かう日本を反映し、デビュー曲は全員大ヒットした。しかし、1959年に17歳で歌手デビューしたアレサのヒット曲は？

遅咲きの歌手の代表が五木ひろし。五木ひろしは、『全日本歌謡選手権』で10人勝ち抜きをしながら、デビュー後は長い間鳴かず飛ばずだった。それは一体なぜ？それを含めて『よこはま・たそがれ』（1971年）が大ヒットするまでの彼の歌手としての人生の歩みは興味深い。それと同じように、アレサがヒット曲を手にしたのは、1967年のゴスペル色を前面に押し出した『貴方だけを愛して』によってだ。

したがって、そこに至るまでのアレサの歌手としての苦闘ぶりはもとより、恋人兼マネージャーのテッド（マーロン・ウェイアンズ）をとるか、それとも父親をとるかの決断や、テッドとの対立の中、テッドとの間に生まれた息子を抱いて実家に戻っていく姿は、「まさに、これぞ人生！」と思えるものだ。そんな状況下、『リスペクト』をスーパーヒットさせたアレサは一躍大スターの座を手に入れたが、さあ、ここから絶頂期を迎える歌手アレサの生きざまは？

◆先日、橋幸夫は思うような声が出なくなったことを理由として、2023年5月に迎える80歳の誕生日での引退を表明したが、加山雄三は84歳にしてなお現役だ。それと同じように、アレサは2018年8月に76歳で死去するまで、ずっと歌手生活を続けていたから立派なものだ。私は近時、BS放送の歌番組をよく観ているが、日本の歌姫・美空ひばりが1989年に亡くなるまでの歌手人生は興味深い。1988年の「不死鳥コンサート」は今なお語り草だが、もし美空ひばりがアレサと同じように76歳まで歌手として活動していたら・・・？

本作後半は、アレサ役を演じたジェニファー・ハドソンと本物のアレサがほとんど判別できない様な状態で、様々なヒット曲を歌いまくるので、それに注目。とりわけ、ゴスペル曲として日本でも有名な『アメイジング・グレイス』の、神がかったとしかいいようのない歌声に注目！2時間26分、たっぷり充実した時間を過ごさせてくれたことに感謝。

2021（令和3）年11月10日記